

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名 大阪河内長野線(南余部・北野田地区)		シート番号			D 建設・整備事業
担当部署名 建設 局 道路 部 道路計画 課		評価責任者(課長名)			根兵

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	有
	2	事業開始年度	平成 18 年度		終了(予定)年度	令和 1 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	都市計画法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	府道大阪狭山線では、慢性的な交通渋滞が発生し、渋滞緩和と歩行者の安全性の確保等が課題となっており、幹線道路の整備が急務である。また、地域の防災上の避難路として、安全・防災等に関する機能を果たすものであり、早期の整備が必要である。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	道路利用者・災害時における避難者・被災者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	府道大阪狭山線のバイパス道路として、交通分散を図り、渋滞緩和に寄与する。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	都市計画決定: 昭和45年8月17日 事業認可: 平成25年2月15日～令和2年3月31日 事業区間: 美原区南余部～東区北野田 路線延長: L=500m 道路幅員: W=35m 車線数: 4車線 橋梁 1橋(橋長23.4m) 平成30年度は、用地取得及び道路築造工事等を実施			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 業務並びに工事の受注者				

Ⅲ. 投入量

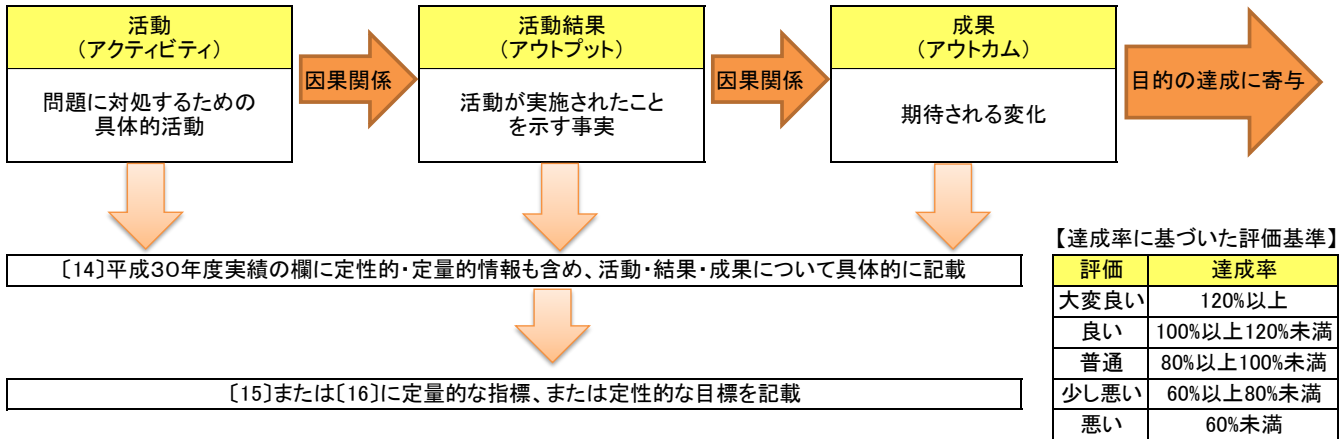
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	244,272	130,483	151,293	218,941	
主な事業費内訳	工事費	千円	241,543	91,131	127,099	208,491
	用地費	千円		38,153	9,991	5,900
	委託費他	千円	2,729	1,199	14,203	4,550
		千円				
	国・府支出金	千円	76,455	56,383	67,023	69,470
	財源内訳	千円				
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円					
市債	千円	150,500	50,200	68,700	122,700	
その他(財産売払い収入等)	千円		18,740		5,900	
一般財源	千円	17,317	5,160	15,570	20,871	
12 人件費 (b)	千円	11,240	11,766	9,046	9,536	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	255,512	142,249	160,339	228,477	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	大阪河内長野線(南余部・北野田地区)	シート番号	19-49
-------	--------------------	-------	-------

### ≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績						
活動実績と成果	14	<p>平成24年度に事業認可取得した大阪河内長野線(南余部・北野田地区)事業について、平成30年度は用地取得並びに道路築造工事等を実施し事業を推進した。</p> <p>[事業進捗]                      (工事進捗状況)                      ○道路築造工事の実施。                      (用地取得状況)                      ○土地所有者と鋭意交渉を行った結果、用地取得ができた。                      ・用地取得率: 100%</p>				
	15	目標				
	16	目標に対する実績	道路築造工事の実施			
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			目標値			
			実績値			
			達成率			
			評価			
		算出方法・設定根拠など				

#### 業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	○地元並びに関係機関と協議を重ねた結果、道路築造工事を発注した。

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。